

日本気象学会

九州支部だより

No. 153 2025年7月

今回の記事

- ◆第43期九州支部理事の紹介
- ◆九州支部2025年度第1回理事会報告
- ◆支部事務局からのお知らせ



発行者

日本気象学会九州支部

〒810-0052

福岡市中央区大濠1-2-36

福岡管区气象台

地域防災推進課内

Tel: 092-725-3614

Mail: info@msj-kyushu.jp

HP: <http://msj-kyushu.jp/>

第43期九州支部 理事の紹介

九州支部事務局

人事異動に伴い退任された支部理事2名の補充選挙のため、4月11日に第43期理事補充選挙告示を行い、4月28日の立候補期限までに2名の会員から立候補の届出がありました。

支部規約により、信任投票（有効投票総数の過半数の信任を得た場合当選）となり、5月8日に選挙公示を行い事務局から支部会員宛に公示文および投票用紙等を郵送しました。5月23日到着分まで郵送による投票を受け付け、4月時点の支部会員169名のうち95名（投票率56.2%）から投票がありました。

開票結果は支部ホームページに掲載しているとおり、立候補された2名とも当選となりました。今回の選挙で当選された理事を加え、第43期の九州支部理事は次のとおりです。

（敬称略、※は新任）

中辻 剛※	福岡管区气象台・台長
竹村 俊彦	九州大学応用力学研究所・教授
望月 崇	九州大学大学院理学研究院・准教授
西 憲敬	福岡大学理学部地球圏科学科・教授
藤 貴志	福岡管区气象台・気象防災部長
鈴木 賢士	山口大学大学院創成科学研究科・教授
河本 和明	長崎大学大学院総合生産科学研究科・教授
河野 香	九州大学応用力学研究所・日本気象予報士会西部支部
前田 緑朗※	鹿児島地方气象台・台長

九州支部 2025年度第1回理事会報告

九州支部事務局

理事会はZoomによるオンラインで開催しました。
以下のとおり報告します。

【日 時】2025年6月4日（水） 18時00分～19時20分 オンラインで開催

【出席者】（理事）中辻支部長、竹村常任理事、望月常任理事、西常任理事、藤常任理事、
鈴木理事、河本理事、河野理事、前田理事
（幹事）萩原事務局長、福永幹事、林田幹事、花房幹事、松本幹事

【議事概要】

事務局長より、理事全員の出席で理事会が成立していることが報告され、議事次第に沿って、事務局長の司会により議事が進められた。会議の主な内容は以下のとおり。

1 第43期理事補充選挙結果報告

選挙管理委員会に代わり事務局長から理事選挙の結果について、報告された。開票の結果、立候補者2名全員が信任されたことが報告された。

2 支部長選出

理事の互選により、中辻剛氏が支部長に選出された。その他理事は以下のとおり。
（次頁）

役職	名前	所属
支部長	中辻 剛	福岡管区气象台
常任理事	竹村 俊彦	九州大学応用力学研究所
常任理事	望月 崇	九州大学大学院理学研究院
常任理事	西 憲敬	福岡大学理学部地球圏科学科
常任理事	藤 貴志	福岡管区气象台気象防災部
理事	鈴木 賢士	山口大学大学院創成科学研究科農学系学域
理事	河本 和明	長崎大学大学院総合生産科学研究科
理事	河野 香	九州大学・日本気象予報士会西部支部
理事	前田 緑朗	鹿児島地方气象台
事務局長	萩原 光治	福岡管区气象台地域防災推進課
幹事	福永 信悟	福岡管区气象台気象防災部
幹事	林田 克也	福岡管区气象台地域防災推進課
幹事	花房 瑞樹	福岡管区气象台地域防災推進課
幹事	松本 寛寿	福岡管区气象台地域防災推進課
会計監査員	三好 勉信	九州大学大学院理学研究院

3 2024年度事業報告

3-1 理事会

3-2 会員向け研究会など

(ア) 第45回支部発表会（ハイブリッド開催）

3-3 一般向け行事

(ア) 気象教室

(イ) ジュニアセッションin九州

(ウ) 気象サイエンスカフェ

3-4 支部だより

3-5 支部奨励賞

3-6 ホームページ

3-7 会員数

3-8 決算報告、会計監査報告

事務局から、決算を含めて2024年度の事業について報告された。事業報告および決算報告については特段の意見はなかった。

4 2025年度事業計画案

4-1 理事会

4-2 会員向け研究会など

(ア) 第47回支部発表会

- ・開催時期は、2026年3月1日（日）を予定とすることで承認された。
- ・開催方法は会場開催を基本とし、福岡市周辺で開催を検討することで承認された。

4-3 一般向け行事

(ア) 第26回気象教室

- ・開催は見送りとすることで承認された。

(イ) ジュニアセッションin九州

- ・支部発表会と同時開催とする案で承認された。

(ウ) 気象サイエンスカフェin九州

- ・開催時期は、2026年2月頃を予定に検討することで承認された。

4-4 支部だより

4-5 支部奨励賞

4-6 日本気象学会奨励賞受賞候補者推薦

4-7 ホームページ

4-8 会員数の拡大

4-9 2025年度秋季大会

「7. 2025年度秋季大会に関する事項」にて詳述

4-10 2024年度予算案

- ・前年度からの繰越金での事業活動計画や、ジュニアセッションへの参加者交通費、学会支部端末の更新などが承認された。

理事からの意見や議論は以下のとおり。

➤気象教室について

- ・例年12月頃開催しているが、秋季大会準備対応のため、今年度は実施しないこととする。前回福岡で秋季大会が実施された2019年も気象教室を実施しておらず、今回も同様の方針。

➤気象サイエンスカフェについて

- ・今後の開催については、気象予報士会西部支部（以下、「予報士会」）主導による実施を目指していきたい。
- ・他方、予報士会としても今年度は秋季大会において専門分科会を計画するなど大会対応で繁忙となり、予報士会主導で実施するのは困難。来年度以降の主導的な実施については、一般の方と予報士会の関わり合いを深めるという観点から継続して議論し、今年度中にその結果を報告したい。
- ・今年度の実施について、会計や出納は引き続き事務局が管理し、それ以外の部分を予報士会が担う方向としたい。予報士会が主体的に動けば、予報士会の活動も外から見え易くなる。また、来年度はこれまでの学会運営についても見直す必要がある。

- ・今年度の開催時期も、会場確保や講師選定の準備など例年通りのスケジュール（1月末～2月初旬）とし、秋季大会で繁忙となった場合は開催時期の変更も検討する。

5 担当理事の分担

（事務局案の協議） 今年度の担当が以下の表のとおり確認された。

項 目	担 当 理 事
支部発表会	竹村理事（九大）、望月理事（九大）、藤理事（福気象）
気象教室	～秋季大会に伴い開催見送り～
気象サイエンスカフェin九州	望月理事（九大）、藤理事（福気象）、河野理事（予報士会）
ジュニアセッションin九州	望月理事（九大）、藤理事（福気象）、河本理事（長崎大）
支部奨励賞	竹村理事（九大）、鈴木理事（山口大）、河本理事（長崎大）、西理事（福岡大）、河野理事（予報士会）、前田理事（鹿気象）
支部だより	鈴木理事（山口大）：「支部会員からの便り」7月分 西理事（福岡大）：「支部会員からの便り」9月分 河野理事（予報士会）：「支部会員からの便り」12月分 前田理事（鹿気象）：「支部会員からの便り」3月分
日本気象学会奨励賞	藤理事（福気象）

6 本部理事会からの報告

竹村理事（本部理事）からの報告は以下のとおり。

- ・全国的に気象庁に依存しない支部運営のあり方を議論しているところで、各支部で気象台が事務局を担っている現状を見直すために、問題点の洗い出しなど検討されている。今後1年程度かけて運営方針について議論されていく。特に会計の扱いが難しく、会計管理の担当を毎年変更していいのか、あるいは長期間一つの機関が管理し続ける場合の問題点など。
- ・2027年度以降の春季、秋季大会は、年1回開催（秋季大会）に統合する方向で確定しており、春季大会は2026年度で最後となる。2027年度以降における秋季大会の運営形態については、会員に対しその方針がメールで共有されている。
- ・学会が出版している気象集誌と SOLA について、投稿システムを現在の J-STAGE から、Springer Nature に移管し、これにより論文の投稿がしやすくなるはずである。
- ・春季大会で実施していた本部のジュニアセッションは2027年度以降実施しない。その代わりに、日本地球惑星科学連合（JpGU）の高校生セッションへの合流を検討している。ただし、現在の高校生セッションの枠組みでは中学生が参加できないが、JpGUと

検討し今後は参加できる見込み。ジュニアセッションについては、九州支部独自の取組みとして貴重であり、是非継続していきたい。また、募集範囲も九州限定ではなく全国にオープンすることができるか、検討の余地があると考える。

7 2025年度秋季大会に関する事項

理事からの意見や議論は以下のとおり。

- 企業協賛金について、支部では竹村理事が担当となっており、趣意書や募集要綱等を準備し本部とやり取りをする予定で、以降の企業募集や協賛金獲得活動について支部では関与しない。一方で、協賛企業の展示やリクルートブースなど会場での対応については、現地の実行委が行う必要がある。
- 例年、本部からの交付金については大会事務局から増額の申請を行ってきたが、今年度の秋季大会は、事務局が予め作成した予算案が本部理事会で承認されている。このことから、今回は都度の増額申請を行う必要はないかもしれない。
- 本部からの交付金について、どの時期に事務局に配算すればよいのか、前金が必要であればそれに間に合うように経費を配算する必要があるので、その際は相談してほしい。

以上、提案された議案はすべて承認された。

支部事務局からのお知らせ

事務局メンバー交代

九州支部の事務局は福岡管区気象台地域防災推進課で担当しています。メンバーは4月の人事異動により、事務局長を含め3人が交代しました。今年度は萩原事務局長、福永幹事、林田幹事、花房幹事、松本幹事が担当しますのでよろしくお願いします。

メールアドレスの登録および変更のお願い

支部事務局から会員の皆さんへの連絡やお知らせには、主に電子メールを利用しています。現在、支部会員の方にはメールアドレスを登録いただいています。しかし、メールを送付した際に、送信エラーや不達などのメッセージが返ってくることがあります。職場の異動、学校の卒業・就職や進学などでメールアドレスが変更になっている可能性がありますので、確認をお願いします。

アドレスの変更や新規の登録については、支部事務局までご連絡ください。事務局からのメールは、一斉送信する際にはBCCで送信するため、他の会員にメールアドレスが知られることはありませんのでご安心ください。

学会への入会のお誘い(会員増加への協力お願い)

九州支部の会員数は、次ページの九州支部年別会員数の推移グラフのとおりです。近年は横ばい状態にありますが、長期的には減少傾向となっています。これは九州支部だけではなく全国的な傾向です。

学会の活動は会費で運営されており、会員数の減少は将来的には学会の活動に支障を来たすおそれもあります。職場や学校などで気象学に興味をお持ちの方がおられましたら是非入会を勧めていただくようお願いします。

入会手続きについては、支部事務局へ連絡いただくか、学会のホームページをご確認ください。

九州支部 年別会員数の推移(2015年度～2025年度)

